

私たちは、命のつながりに想いを馳せる暮らしを提案し、心豊かな生き方のお手伝いをします。

創業 明治 44 年 命のつながりを想う

発行 有限会社 長門屋
編集：未来の種まき委員会
990-0042
山形市七日町 1-4-12
TEL 023-622-2204
FAX 023-622-2203
<https://oshironomise.com>
2025 年夏 第 43 号

あどつあま

“あどつあま”とは…

仏様をさす方言。米沢の方では住職様、僧侶をさすそうです。
宗教の知識を通してお役に立つれば嬉しいです。



いのちのつながりを想う。
長門屋
仏壇・仏具・墓石
お城の店が目印です。

Web サイトに掲載しています！

仏壇のある暮らしの声



【山形市 T 様】

ベッドのある身近なお部屋に設置したミニ仏壇。気持ちを和ませてくれる話し相手です。



『仏壇のある暮らしの声』は
こちらから ⇒



【山形市 K 様】

お仏壇に手を合わせてあいさつするのが日課となり、旅立ってもいつも私どもを見守ってくれているんだなあと思うようになりました。



数年前から、お仏壇をお納めして半年ほどたったお客様に、お手紙と一緒に、お仏壇のある暮らしのご様子や変化を伺うアンケートを同封しています。そのアンケートによって、宗派や仏事の決まり事といったものを越えた、それまでとは別の形で、亡くなつたご家族と暮らし始めたお客様の生の声が返つてくるようになりました。

お手紙からは、書いてくださつた方々それぞれの思い入れの程が伝わってきて、読むたびに背筋が正される思いがします。以來これを「仏壇のある暮らしの声」としてウェブサイトで紹介させていただいています。

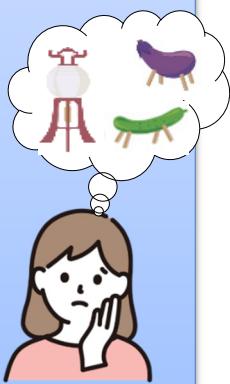
お客様が私たちに伝えてくださることは、日常の暮らししからでてくる本音の言葉で、貴重な気づきをいただいています。お声からいつも感じるのは、モノであるけれど、モノではない「お仏壇」という存在「それはたらき」についてです。

お仏壇は、「小さなお寺」や「亡くなつた方を供養するためのもの」という側面だけでなく、未来を生きていいく家族の大きな助けになるという側面があると感じています。

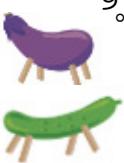
供養の世界に携わらせていただく者として、これからもお客様がお手紙に書いてくださつた声を真摯に受け止めてお伝えしていきたいと思います。（笹林）

お盆の迎え方

みんなのギモン



「お盆」とは？
八月十三日から十六日に故人や
ご先祖様の靈を家に迎えて供養
する、一年に一度の行事のこと
です。（一部の地域では、七月に
行われます。）お盆提灯は、故人
やご先祖様への供養の表れであ
り、お盆に迷わずに帰つて来ら
れる「灯り道」となります。精靈
馬は、あの世とこの世をつなぐ
ご先祖様の乗り物です。



Q 迎え火、送り火とは、なんで
すか？

A 玄関口やお墓で、素焼きのお
皿で芋殻を焚き、ご先祖様を迎え
送るものです。迎え火は、八月十
三日（七月十三日）、送り火は、

Q お盆提灯はどこにどんな風
に飾るのですか？

A お盆提灯は、仏壇の前や脇に
一対で飾るのが基本です。しかし、
スペースの問題や飾る場所
が狭い場合には一対でなくでも
大丈夫です。
(白幡)



※コンパクトなお仏壇に設えたお盆飾りの一例

八月十六日（七月十六日）で、
夕方に行うのが
一般的です。



多くの仏様の中で最も身近で古
くから信仰されている十三仏さま。
直にお姿を拝することで、さまざま
なご利益を授かることができます
うです。
この期間限定の特別な「記念印」
や新しくなった「おすがた」の用意
もあります。ぜひ
お訪ねになり手を
合わせて、仏さまと
のご縁をお結びく
ださい。



県内十三の寺院で組織する「山形
十三仏靈場会」さんが、その開創三
十年を記念して、七月末までそのご
本尊を一斉に御開帳するイベント
を開催しています。
各靈場は最上川沿いに点在し、由
緒ある寺院を巡礼できる旅路とし
て親しまれています。

ご本尊の大日如来さまは末（ひつ
じ）申（さる）年生まれの守り本尊で
す。大日の文字通り太陽を表し生命
の源を意味する仏さまで、身体健固
や無病息災にご利益があります。私
は、圧巻の秘仏を間近で拝見できて、
感動とパワーをいただきました！
木々に覆われた静かな境内は勿
論、周辺には平清水焼の窯元の器の
お店やこだわりの純米酒専門店など
もあり、見どころが満載です。

七月三十一日まで開催中
第12番札所 平泉寺さん

長門屋
おすすめ



詳しくは
庭月観音
HPへ



平泉寺 大日堂
山形市平清水番外1
TEL 080-6030-7628

(後藤)